



総会の様子



新人職員の自己紹介

伊達市連合自治会協議会総会・自治会長会議

5月8日、防災センターで、「伊達市連合自治会協議会定期総会」が開催され、平成25年度の事業報告と平成26年度の事業計画案などが承認されました。今年度の定期総会にも大勢の自治会長が出席し、同協議会の渡邊源之会長が「伊達市の発展、地域活性化のために協力をお願いします」と挨拶しました。

また、自治会活動に貢献した個人48名と花いっぱい運動や竹原会館周辺の清掃活動に取り組んできた2団体が表彰されました。

総会後に引き続き開催された自治会長会議では、今年4月に市役所に採用された新人職員11名が自己紹介を行い、今後の抱負を述べました。

有珠小学校 藍染体験教室

5月1日、黎明観で有珠小学校の児童を対象に藍染体験教室が行われました。

工房に入ると、児童たちは発酵した藍の独特の香りに驚きながらも、さまざまな模様が付くように輪ゴムやひもを使って、作業に取り組んでいました。

藍色には程遠い深緑色の染料に浸す段階では、想像した色に染まるのか不安そうな児童たちでしたが、完成後には、友達同士で「きれいに染まったね」と作品を見せ合いながら、嬉しそうにしていました。



持参したTシャツを染料に浸す児童

熱く語る杉村さん



(一社) 伊達青年会議所創立45周年記念「杉村太蔵氏講演会」

4月24日、カルチャーセンターで、伊達青年会議所45周年記念事業として「杉村太蔵氏講演会」が行われました。

約400名の観衆を前に熱く語り、自身の半生と若い世代の力を生かしたまちづくりへの提言をいただきました。「学歴ではなく、学力。自ら学ぶ力が大事」「自分がしたいことをするのはではなく、人に求められることをするのが大事だと感じる」など、真面目な人柄がうかがえた講演会でした。

市民講座「春の寄せ植え講座」

5月19日、カルチャーセンターで市民講座「春の寄せ植え講座」があり、9名が参加しました。

講師の岩崎さんが「和気あいあいと楽しみましょう」と挨拶。植える花の名前や特徴などの説明の後、実際に寄せ植え体験がスタートしました。

体験中も、「花を美しく見せ続ける方法」などのやりとりが家庭的な雰囲気の中で進められました。

参加者の方たちは、植え終わったあとにお互いの作品を見せ合って満足げな笑顔をみせていました。



寄せ植えのひとつ一つに個性が輝いていました

童謡「茶摘」に合わせてみんなで手拍子



認知症介護者のつどい「つくしんぼう」 — 音楽のつどい・春 —

5月13日、保健センターで、「音楽のつどい・春」が行われ、約30名が参加しました。この催しは、認知症の方やその家族に、音楽を楽しみゆったりとした時間を過ごしてもらうためのもの。「認知症で感情の表現が難しい人も音楽をきっかけに笑顔を取り戻すことができれば、介護する方もほっとできる。音楽の力ってすごいんです」という講師の太田亜希子さんの話のあと、童謡をみんなで歌い、手を使う軽体操も音楽に合わせて歌いながら行いました。



第三回存在の美学展、開催

5月18日、カルチャーセンターで「第三回存在の美学—伊達市噴火湾文化研究所同人展—」が始まりました。今展では、野田弘志さん・永山優子さん・廣戸恵美さんに加えて、今村圭吾さんと松永瑠利子さんの作品が展示されています。

オープニングセレモニーでは4名の作家が挨拶し「これからも伊達市から、作品を発信していきたい」と、柔らかな笑みの中にも熱意があふれていました。

また、午後から特別に行われたギャラリートークには、多くの皆さんが集まり、貴重な話に耳を傾けていました。



ギャラリートークには多くの方が集まりました

展示会は6月3日まで開催しています